



同窓会会報

発行
福島成蹊高等学校
同窓会
福島市上浜町5-10
電話(522)2049
発行人 渋谷 スズイ
印刷所 シーアイエー(株)



思い出の母校シリーズ① 茶室「不二庵」

引き続き開かれたミニコンサートには、野地美智留様によるクラリネット演奏曲目は六曲が演奏され、感動致しました。斉藤のり子様ピアノ伴奏に合わせクライマックスに到達、心の芸術が第一歩を踏み出した瞬間でした。野地美智留様と斉藤のり子様ともども平成七年本校卒業生です。ま

同窓生の皆さんには、清々しい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年は、わが国でも各地で四〇度前後の酷暑に見舞われたことが思い起こされます。
さて平成十九年六月十日(日)福島ビューホテルにおいて、会員一八七名出席のもと、福島成蹊高等学校同窓会総会が盛大に開催されました。本総会では、収支決算、事業報告、予算、事業計画案および役員改選の会議案が満場一致で承認可決されました。役員改選期の今回、会長に渋谷スズイ、副会長に浅野良子、小林征子、石井都、会計監査には酒井幸子、杉内文子を選任され新たなスタートをいたしました。

平成十九年六月十六日、母校創立記念日に、会長と役員で、初代校長熊田子之四郎先生、四代目校長明石智真先生のお墓参りをして来ました。墓前で十九年度同窓会総会が成功裡に終了出来たこと、又、平成二十一年度より中高一貫教育校となることも報告しました。私達同窓生も母校発展の為に、大いに協力して行きたいと思っております。奇しくも、明石先生の三十三回忌の年に当たっておりましたので、併せて先生のご冥福を祈って参りました。

会員皆様が当会の発展に大きく貢献くださいますことをご期待申し上げます。また皆様方のご健勝を祈りつつ挨拶とさせていただきます。
創立記念日に墓参
事務局長 益田 幸子



— 更なる発展に向けて —

同窓会会長 渋谷 スズイ

カナダで活躍する人

おしゃべり会一同

進学に、運動に、芸術に
と後輩達の活躍には目ざま
しいものがあり、たのもし
く嬉しく会報や情報を見た
り聞いたりしています。

少し前のことになりました
が、昭和三十八年度卒業の
私達の仲間にも紹介したい
友人がいます。その名を
『京子・モリス』といい、
カナダ人に嫁いで三十五
年、バンクーバーに在住し、
日本やヨーロッパの国々と
鮭・鱒・筋子などの取り扱
い(バイヤー)をしている
ご主人と共に、二男一女の
母親として家庭を守りなが
ら、コンピュータを操作し
協力して働いています。

また、いろんな国からや
って来るお客様の手待や、
時折ホームステイなども引
き受けて多忙な毎日を送っ
ています。
一昨年、ご主人からの誘
いがあり、カナダに行っ
てきました。兄夫妻や同級生
仲間達計八人で友人の『還
暦サプライズパーティー』
に出席しました。人種も職
種もさまざまな百人近い
人々との出会い、そしてそ
れらの人々が一つ輪になり
歌い踊った感激は忘れるこ
とができません。遠い異国
の地で彼女が懸命に育んで

きた家族、そしてまわりの
人達との友情にただただ感
激するばかりでした。それ
らは私達の生涯の宝になっ
ています。

彼女の帰国に合わせて始
めた食事会から、気の合っ
た者達で温泉一泊のおしゃ
べり会をするようになって
八年がすぎました。食事会
から数えれば二十年近い歳
月になります。その間、参
加しては来なくなる人達が
いるなかで、住所調べから
クラス会を発足させて協力
し合った人達だけが残りま
した。苦勞の末にまとまっ
たメンバーです。私達はあ
うんの呼吸で結束してい
て、お互いに知りつくして
いる人同士、心から笑いま
ごせる時間を大切に楽し
みしています。

今年も間もなくやって来
るおしゃべり会には、普段
あまり会うことのない仲間
達が万障繰り合わせて集
合します。この友情が長く続
きますようにと願いつつ、
京子・モリスの紹介を終り
ます。



野地美智留さんからのお便り

先日はいろいろと、お世
話になりありがとうございました。
東京に戻ってとて
もバタバタしており、お手
紙を書くのが遅くなってし
まいました。申し訳ありま
せん。もう、あの日から一
週間が経ったとは。まだ二、
三日前の出来事のように感
じております。

昨年初めて行った私
のコンサートを小林さんと
浅野さんに聴いていただけ
たこと。そして今回母校の
同窓生や先生方にお聴かせ
できたこと、このような機
会を作っていただけたこと
に心から感謝しております。
なかなか連絡が取れな
かったり、曲目や状況のお



知らせが遅くなってしまっ
たり、いろいろとご心配を
おかけしてすいませんでし
た。

中学時代からの友人、斎
藤のり子さんと一緒に演奏
できたことも含め、私にと
ってとても有意義な時間で
した。

また機会がありましたら
声をかけて下さい。
その時さらに良い音楽を
お届けできるように日々努
力していきます。

この度は本当にありがと
うございました。
会長さんはじめ、皆様
にお伝え下さい。
平成七年卒 野地美智留

初めての同窓会

四十二年卒 野口けい子

卒業してから、早四十一
年が過ぎ、この度初めて、
同窓会に出席させて頂きま
した。なつかしい友の顔、
一年担任の横山先生、二・
三年担任の片平先生、共に
お変わりなく元気な姿を拝見
し、すぐに高校時代に戻り
なつかしく、色々な事が、
思い出され、話が尽きませ
んでした。
役員の方から、何度か、
お誘いが、ありましたのに



関係者の皆様方には、心か
ら感謝致しております。
そして後輩達の進学には
目を見張るものがございます。
目標を持って、努力す
る者は、むくわれる日が、
きっと来るでしょう。成蹊
の活躍を、大いに楽しみに
期待しております。
来年も、元気で出席出来
るよう、健康に留意し、良
い年を重ねて行きたいと、
思っています。

同窓会に出席して

平成元年卒 加藤 圭子

六月十日、初めて成蹊高
等学校の同窓会に出席させ
て頂きました。

福島ビューホテルで美味
しい食事をいただきながら
同窓生でクラリネット奏者
野地美智留さんの演奏に耳
を傾け、とても穏やかな時
間が過ぎました。
会場には百八十人位の参
加者がいました。

当時お世話になった方や、
懐かしい先生方もおられ、
久しぶりにお会い出来た事
を嬉しく思います。
年間を通して色々な催し
がある事を多くの同窓生に
知って頂き、是非参加して
もらいたいです。

この会を主催して下さい
た方々に感謝し、また皆様
に元氣にお会い出来る事を
楽しみにしております。

福島成蹊高等学校同窓会一般会計決算書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

- 1. 収入金額 1,575,856
- 2. 支出金額 1,250,136
- 3. 差引金額 325,720

収入の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘要
会費	1,424,000	1,408,000	△16,000	4,000×352人
預金利息	500	569	69	普通預金利息
雑収入	10,000	10,000	0	総会及び研修会御芳志
繰越金	157,287	157,287	0	前年度より繰越
合計	1,591,787	1,575,856	△15,931	

支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘要
事業費	500,000	181,147	△318,853	総会、研修会
会議費	80,000	30,930	△49,070	役員会、幹事会
会報発行費	150,000	126,840	△23,160	会報第13号
協力費	150,000	141,276	△8,724	全国大会祝金、卒業記念品
交誼費	60,000	34,752	△25,248	慶弔費
通信費	100,000	49,550	△50,450	切手、名簿補助等
旅費	30,000	0	△30,000	
事務費	50,000	42,531	△7,469	印刷費等
特別積立費	400,000	400,000	0	基金積立
予備費	71,787	243,110	171,323	パソコン、プリンター、デジカメ
合計	1,591,787	1,250,136	△341,651	

特別積立金(平成19年3月31日現在) 12,432,873円

上記帳簿及び関係書類について監査の結果正確であることを認めます。

平成19年5月10日

監事 児玉カツ 酒井幸子

訃報

山田廣助氏ご逝去

学校法人福島成蹊学園第5代理事長
9月15日 逝去 90歳



現在の女子制服採用等、成蹊の変革多き時期を導いてくださいました。また、第3代理事長故山田英二氏の夢であった体育館建築を実現せんと3億円を超えるご寄付、愛唱歌「いつか小蹊が」(小椋佳 作詞・作曲)、さらに自宅にあった茶室を寄贈(福島成蹊中学校一角に移築予定) いただく等、本学園に沢山の愛情をお注ぎくださいました。

本学園5代理事長であり、退任後は長く相談役をお務めいただいていた山田廣助氏が肺炎のためご逝去されました。理事長在任中は、山田記念体育館・東校舎の建築、現在の特別進学科1スの原型となる「I型進学科課程」の新設、家庭科の募集停止、

合掌

- 昭和62年4月 職歴
 福島成蹊学園理事に就任
 昭和63年4月
 同学園副理事長に就任
 昭和63年12月
 同学園理事長に就任
 平成9年5月
 同学園理事長を退任
 現在相談役
- 表彰
 昭和18年度8月
 勲七等瑞宝章授与
 平成元年11月
 福島県知事表彰(功労章)
 平成17年4月
 福島市功労表彰(特別功労章)
 平成18年11月
 旭日小綬章 受賞
- 長い間ありがとうございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。
 同窓会一同

会務日誌

- 平成19年
 4月10日(火) 役員会 総会について
 14日(土) 第1回 総会準備委員会
 5月19日(土) 第2回 総会準備委員会
 26日(土) 第3回 総会準備委員会
 6月2日(土) 役員会・総会役割分担
 10日(日) 同窓会総会・クラリネットミニコンサート
 16日(土) 募参
 7月14日(土) 定例役員会・福島テルサ・男女共生セミナー参加
 8月11日(土) 定例役員会・福島テルサ
 27日(月) 臨時役員会・PTA教養講座参加について
 9月8日(土) 定例役員会
 16日(日) PTA教養講座・ピアノコンサート参加
 10月13日(土) 同窓会研修会・向滝35名参加
 16日(火) 臨時役員会、会報編集会議
 11月6日(火) 臨時役員会、会報編集会議
 22日(木) 臨時役員会、会報編集会議
 12月8日(土) 定例役員会
 平成20年
 1月12日(土) 定例役員会
 21日(月) 臨時役員会・新幹事顔合わせ会について
 会報編集会議
 24日(木) 新幹事顔合わせ会 役員会
 2月9日(土) 定例役員会
 19日(火) 臨時役員会、会報編集会議
 29日(金) 同窓会入会式
 3月1日(土) 卒業式・会報発行

※随時役員会、編集会議を行っている。

カナダより参加して

京子モリス(旧姓・中島)

これまで何度かの同級会に出席し、感動的な再会を味わってきましたが、同窓会は初めての出席でした。海外生活が長くなり同窓会への出席はちよっとナーバスな気分でした。福島駅につき、会場行きのバスを待っていた時、友人が声をかけてくれた事から、肩の荷が下りるような安堵感を覚えました。会場の控室に入るとすぐ懐かしい顔が集いお茶と共に新香、梅干し、菓子類が盛りられ、もう話はずみ賑わってしまいました。本命の同窓会が始

まり、活動・経過報告等があった後、懇親会に移りました。

時間の経過と共にそれなりに盛り上がりが、高校時代にもどったような様相で歌い踊りはしゃぎ、校歌を歌い会がピークに達した頃に散会となりました。懇親の中で母校は現在、県内の名門校として発展しているとの事。嬉しい限りでした。皆様のお幸せと母校の発展を祈りつつ筆をおきます。



退職

- 加藤清和先生
 金澤千恵子先生
 鈴木杏子先生
 平成二十年三月三十一日付

あとがき

今回より会報の誌面レイアウトを一新しました。表紙にはシリーズものを出して行こうと、思い出の母校として学舎を順次出していきたいと考えています。皆様方のご意見、ご要望を事務局にお寄せ頂ければ幸いです。よろしくお願ひします。